

タンザニアでベンチャー起業

社会課題解決へ
経済誌で評価

30歳未満の才能ある日本人30人を発掘する経済誌「オープンジャパン」主催の企画「30 Under 30 Japan」。スポーツ選手の大谷翔平さん、女優の忽那汐里さんと並び、社会起業家として選ばれた薬剤師がいる。タンザニアでベンチャー企業「Darajapan」を立ち上げた角田弥央さんだ。エネルギー問題や環境汚染、雇用不足などをビジネスの力で解決しようと現地で奮闘している。「大学生の時に訪れた発展途上国への思い、使命感がモチベーション」と語る。

Darajapan代表取締役 角田 弥央さん

角田さんは昨年3月にタンザニアで現地法人を設立。最大の都市ダルエスサラームに拠点を置き、事業を軌道に乗せようと奔走中だ。

力を入れるのは、バイオマスブリケット事業。食料廃棄物などを再利用して調理用燃料を製造販売する。タンザニアでは、薪や木炭を調理で使用した時に出る煙で健康被害を受ける人が少なくない。有害な煙を出しにくい新しい燃料を開発して、衛生環境の向上につなげる考え。現在も商品開発を進めている段階で、テストマーケティングを経て1～2年以内に発売する計画だ。

タンザニアで手に入る材料を使い、現地の人が取り組みやすいようほぼ手作業で製造している。ココナッツの皮やイモ類のキャッサバ、食べ残しなどを集めてきて粉碎し、赤土や水で固めて乾燥させる。長さ約50センチの丸太状に仕上げ、必要な量だけ



コンロやかまどに入れて使ってもらおう。有害物質を出しにくく、燃費の良い最適な原料の組み合わせを見つけるため、試行錯誤を続けている。

月1～2万円ほどと収入が少ない一般層でも購入できるように、薪や木炭などとほぼ同額の1kgあたり500～600円で販売する予定。1kgでおおよそ2～3週間分の燃料をまかなえ、燃費も高まる見込みだ。まずはレストランや屋台をターゲットとし、中長期的には農村地域の一般家庭にも販売を拡大する考え。現地ではガスも販売されているが、価格が高く、低所得者層にはなかなか手が届かないという。競合他社もあるが、食料廃棄物を原料としている

のは珍しく、低価格で燃費も引けを取らない。市場で一定のシェアを獲得できれば、億単位の売上も見込めるようだ。事業の拡大に合わせて必要な人員を雇い入れ、現地に雇用を創出する。廃棄物を原料にするため、ごみ問題の解決にも役立つ。

現在は、バイオマスブリケット事業以外の他の事業で生計を立てている。現地農家の栽培や養鶏、収穫物の販促を支援するほか、タンザニアに進出する日本の中小企業をコンサルティングしている。ビジネスコンテストで資金を調達することにも成功した。

(12ページへ続く)

就職準備特集号 I



新卒生限定 10泊12日
ハワイ研修実施!

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収 450～550万

希望店舗での勤務OK! 働き次第で高収入も可能! あなたの頑張りを評価します!

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に130店舗展開中!!

渋谷駅前店・池袋西口店・永田町・中津店
阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店等

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索



薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314 検索